

## 第132期 年次報告書

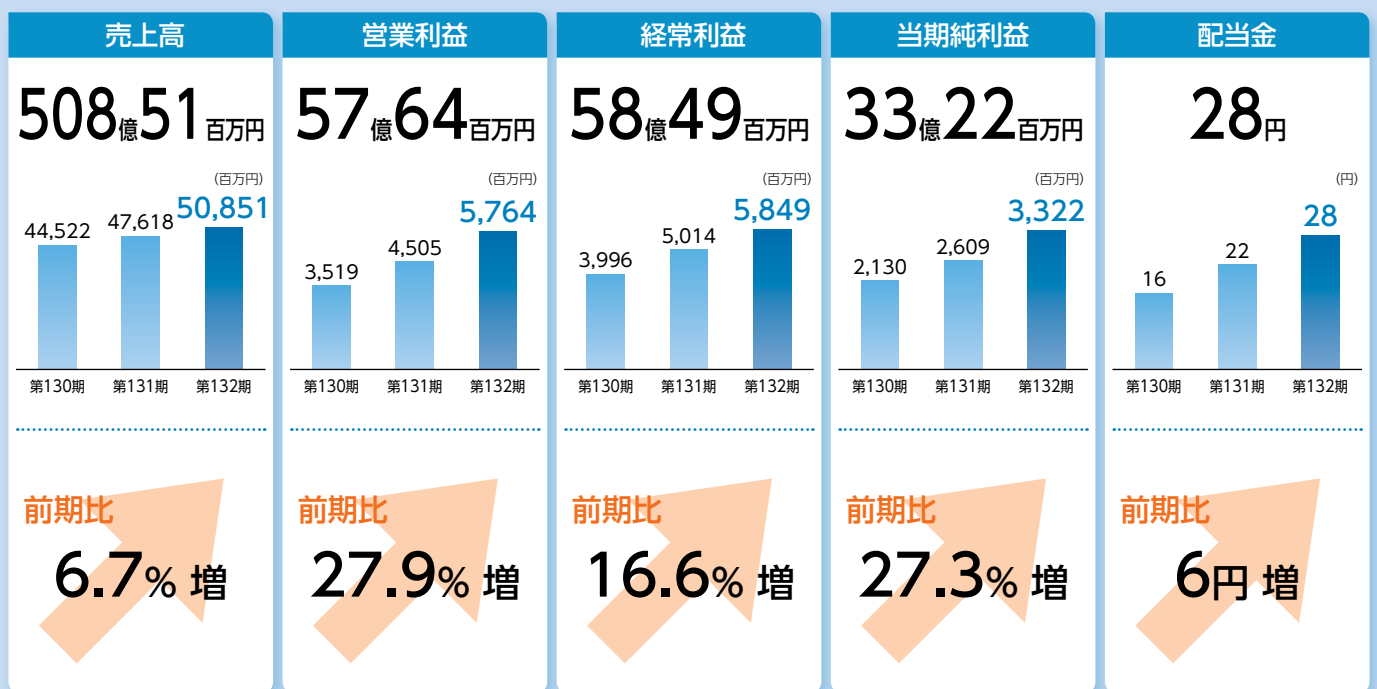
平成27年1月1日 ▶ 平成27年12月31日

[証券コード：5184]

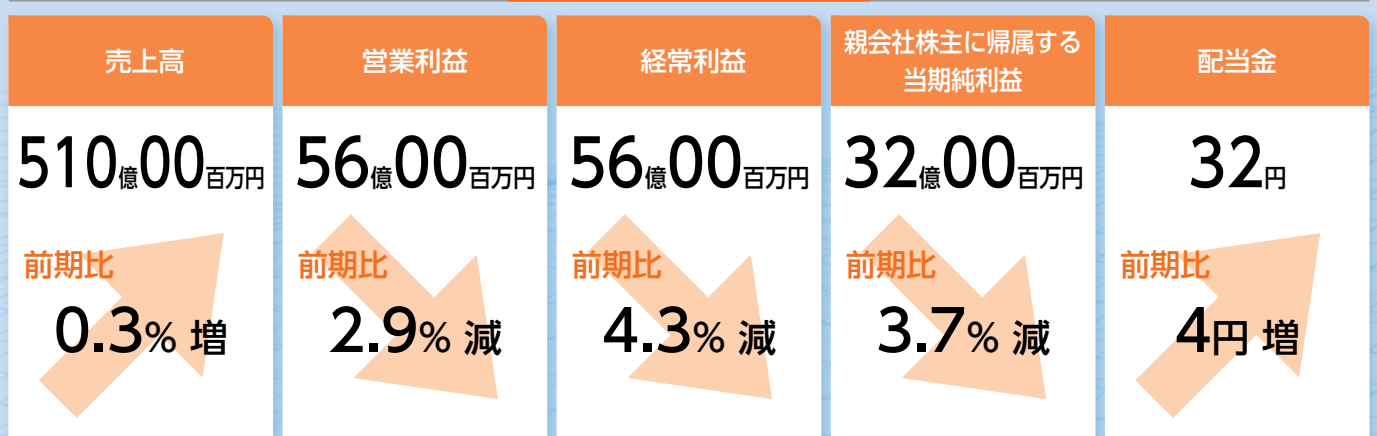
株式会社 **ニチリン**

### 連結業績ポイント

#### 平成27年12月期



#### 平成28年12月期の見通し





## 中期経営計画

「NICHIRIN Growth Strategy 2020」のもと、  
真のグローバル企業をめざしてまいります。

代表取締役 社長執行役員

前田 龍一

### Q 第132期（2015年12月期）の業績についてご報告をお願いいたします。

A 当連結会計年度（2015年1月1日～2015年12月31日）における当社グループは、2014年の創立100周年を節目とする新たなスタートとして、中期経営計画「NICHIRIN Growth Strategy 2020」の推進を開始いたしました。

当期におきましては、日本国内では、軽自動車税増税による影響などが懸念される中、新規顧客の開拓と新製品の拡販に注力し、その一方で、収益構造の改革の一環である適正価格化、中期経営計画の戦略の一つであるグローバル管理改革に努めました。その結果、連結業績は前期と比較し増収増益となり、最高益を更新することができました。セグメント別においても、日本・北米・中国・アジア・欧州の各地域は概ね増収増益（売上高・営業利益ベース）となっております。

主な要因としては、円安傾向による為替でのプラス面もありましたが、新しい商品群が増えた点を挙げるができます。具体的には、国内のブレーキホースの有力顧客に対して、新たにフューエルホース（燃料ホース）や安全装置システムの配管を受注。主力のブレーキホースでも国内メーカーを新規開拓できました。また、業績への寄与という点では、ドイツメーカー向けの製品納入が本格化したことも大きかったといえるでしょう。海外では、子会社のニチリン ベトナム カンパニーリミテッドでアメリカメーカー向けブレーキホースの量産がスタートし、また、ベトナムで二輪車を生産しているイタリアメーカーを新規開拓したほか、イギリスのメーカーでも新製品の採用が決

まるなど、欧州地域での開拓が進みました。

以上のような取り組みによる堅調な業績のもと、配当につきましては、期末を1株当たり16円とし、年間で28円（前期実績22円）を予定しております。

### Q 中期経営計画「NICHIRIN Growth Strategy 2020」を改めてご説明願います。

A 当連結会計年度を初年度とし、オリンピックイヤーでもある2020年をひとつのゴールとした中期経営計画で、「ビジョン（めざす姿）」を明確にし、「2020年連結経営指針」を2014年11月に策定したものです。ただ、この中期経営計画期間（2015年～2020年）では、自動車・住設分野における技術・機能、また、顧客に求められるものが大きく変化するなど、当社グループの製品群にも大きな転換が訪れ、また、既存事業の成長ペースも弱まるなど、事業環境は大きく変化するものと想定しております。この環境変化を俊敏にとらえ、「失敗を恐れず、高い目標に挑戦する」ことで、更なる進化と新たな成長を確実にしていくことが計画の狙いです。そのための改革領域として、**事業 (Structure)**、**しくみ (System)**、**人 (Skill)**、**企業価値向上 (Business Value)** を挙げました。これらは中期経営計画の「6つの全体戦略」と対応したものであり、それぞれに設けた重点施策を年度ごとの「短期経営計画」に落とし込んでいこうと考えております。

2015年の夏には計画策定より約6カ月が経過していたこともあり、全役員による経営施策検討会を催し、また、私自身が各部門の課長以上との懇談を行い、今後やるべきことについての浸透を図りました。

## 中期経営計画 [NICHIRIN Growth Strategy 2020]

### ■ビジョン

目まぐるしく変化する時代のニーズを的確にとらえ、持続的に「新たな価値」を創造し、提供し続ける企業集団

### ■2020年連結経営指針

- 売上高 30%増(2013年比)
- 営業利益率 安定して8%以上を確保
- 当期純利益率 安定して5%以上を確保
- 自己資本比率 50%以上

### ■「改革領域」と「6つの全体戦略」

- ・ 事業 (Structure) の改革
  - ①成長分野の強化・拡大
  - ②新たな事業の創造
  - ③収益構造の改革・利益体質の強化
- ・ しくみ (System) の改革
  - ④グローバルな経営管理改革
- ・ 人 (Skill) の改革
  - ⑤グローバル人材の確保と育成
- ・ 企業価値向上 (Business Value)
  - ⑥信頼される企業活動・社会への貢献により、企業価値を高める

中期経営計画の眼目の一つである本当の意味でのグローバル企業への転換について、具体的な取り組みの一例をご紹介します。「グローバルワンシステム」と名付けた、国内外の事業拠点における生産や経理など、システムの統一化があります。生産管理技術は、ともすれば日本で培ったものをそのまま海外の工場に要求しようというきらいがありますが、それでは各国に受け入れられず未消化になる場合が多いものです。また、経理についても、国際会計基準を前提に、国内で開発されたシステムより、すでに海外で広く流通しているシステムを採用するほうが何かにつけて効率的であり、誤解が生じることもありません。これらの統一化は、グローバル企業として当たり前のことであり、日本で開発し培われたシステムに固執していると、自らグローバル化への道を閉ざしかねません。

私は、日本・海外の区別なく、どの国の顧客に対しても言語のバリアもなく思想のバリアもなく、スムーズに“等距離で仕事ができる”企業グループをめざしております。そのためにも英語教育に力を入れ、人材の採用もグローバルに実施しているところです。

## Q 第133期 (2016年12月期) について どのような見通しを立てておられますか。

A 経済動向は中国の景気減速や原油安の影響により世界的に雲行きが怪しくなっていますが、当社グループの場合、景気動向に左右されやすい自動車市場に注視しながら、東南アジアを中心とする二輪車の需要増をうまく獲得していきたいと考えています。全世界の二輪車

市場は、まだ拡大の余地があり、2015年はおよそ6,000万台が販売されましたが、その勢いは衰えず、7,000万台に達するのにもそう遠くないと見ています。

自動車・二輪車業界におけるニーズの動向は、「安全」「燃費」「環境」がキーワードになると思われます。例えば、現在、自動車のエアコンに使われているフロンガスがより環境保全に寄与するタイプに切り替わっていきようとしていますが、ガスが替わればシステムも替わり、我々のホースも替わります。耐久性はもちろんのこと、構造の変化にも対応する設計が求められます。そういう意味でも、技術開発のスピードアップは重要課題です。

その一方で、生産の効率化も推進してまいります。すでに国内の工場ではロボットの導入で、生産性の向上が図れており、今後もさらに推進していく計画です。

地域別の見通しについては、日本は引き続き厳しい状況が予想されますが、北米は原油安の影響は懸念されるものの好調さは維持できるのではと見ております。景気減速が懸念されている中国は、小型車を対象とした減税措置が時限立法として2016年末まで実施されるため堅調に推移しそうです。アジアは、引き続き自動車の需要低迷を補う形で二輪車需要の伸びに期待しています。欧州は、景気の下振れが懸念されていますが、当社グループにおいては、新規開拓の成果により底堅く推移する見込みです。

また、住宅関連ホースが伸長しており、とくに海外での伸びが顕著であるため、今後はベトナム・中国・マレーシアでの生産を増やす計画を立てております。

業績の見通しについては、好景気を持続しそうな北米地域を除けば先行き不透明な経済状況が予測される地域が多いのですが、新規顧客への対応に注力することを優先事項として、収益ともに当期と同レベルの業績を維持したいと考えております。

## Q 最後に株主様へのメッセージを お願いいたします。

A 株主様への還元につきましては、必要な内部留保と業績を勘案したうえで安定した配当を継続して実施していくことが基本方針です。内部留保に関しては、グローバル化した自動車の多様なニーズによる市場変化に対応する製品開発や効率化へ向けた生産技術の向上、海外生産拠点の再編や拡大などに、適切かつ有効的に投資していきたいと考えております。また、配当に関しては、安定した業績であれば増配基調を考えております。

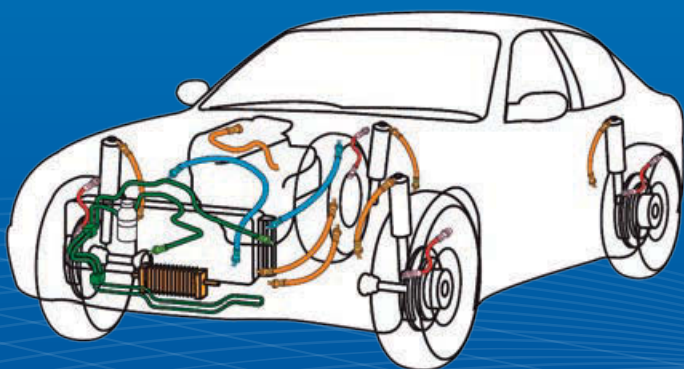
当社グループは、責任と熱意をもってモノづくりに挑戦し、顧客の信頼を勝ち得ることを喜びとして、21世紀の社会に貢献するニチリングループをめざしてまいります。

株主様におかれましては、これまで以上にご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# クルマやバイクなど暮らしの身近なところにニチリンのホースは使われています。

## 自動車用ホース

顧客の様々なスペックに最先端技術でフレキシブルに対応。



ニチリンは、自動車用ホースの国内トップメーカーとして制動系・空調系・操舵系・その他油圧空圧系など、幅広く生産を行っています。製品は世界の自動車メーカーに提供しており、耐久性・低透過性・耐熱性はもちろん、耐候性や耐オゾン性にも優れ、高い脈動吸収性、油圧伝達音の低減による室内静粛性への貢献など、常に最先端を追求し、高品質と高機能で顧客の様々なスペックに応えております。

### ◎ 制動系



### ◎ 空調系



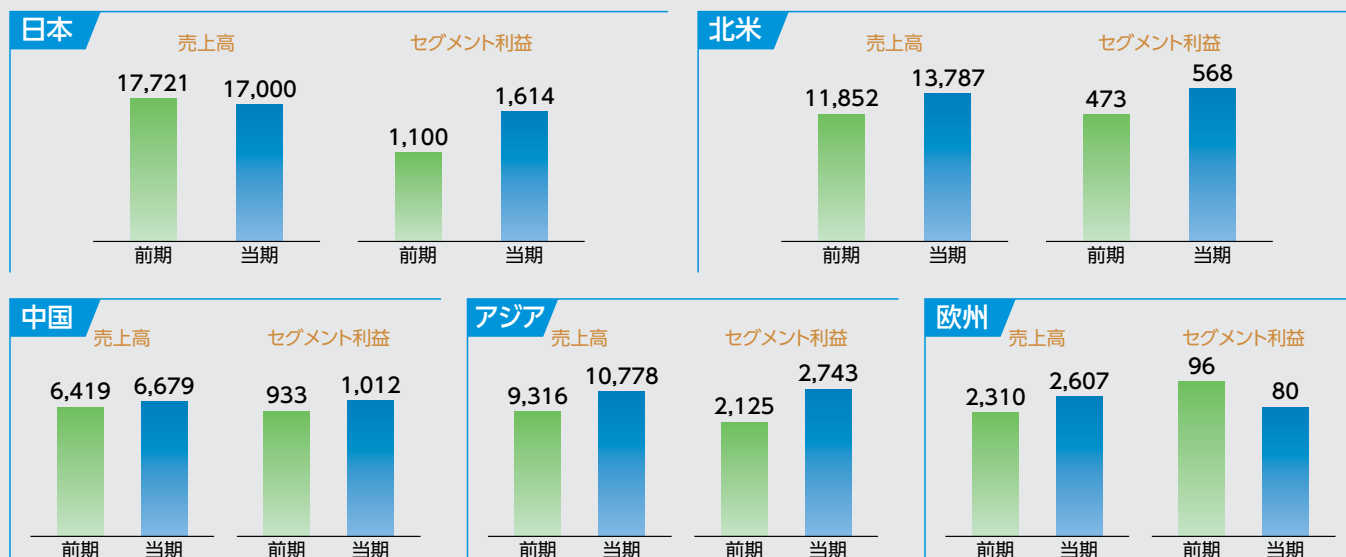
### ◎ 操舵系



### ◎ 油圧空圧系



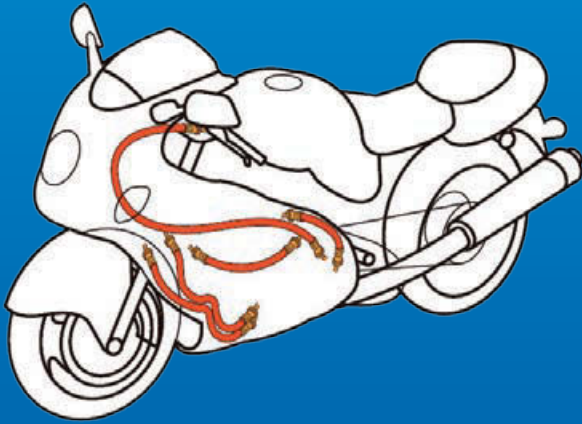
## セグメント情報 (単位：百万円)



※売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

## 二輪車用ホース

# ブレーキ用・クラッチ用ホースを中心に国内100%に近いシェア。



繊細な操作感が要求される二輪車用ホースには、高い品質と機能性に加え、多様なスペックへの対応として多品種・少量生産が求められます。その開発力・生産技術力への高い信頼により、ニチリンは国内の100%近いシェアを獲得しています。

### ◎ 制動系

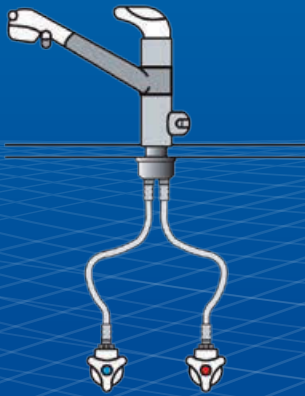


### ◎ 油圧空圧系



## 住宅設備関連用ホース

# 金属配管にはない樹脂やゴムを用いた設計自由度の高さが特長。

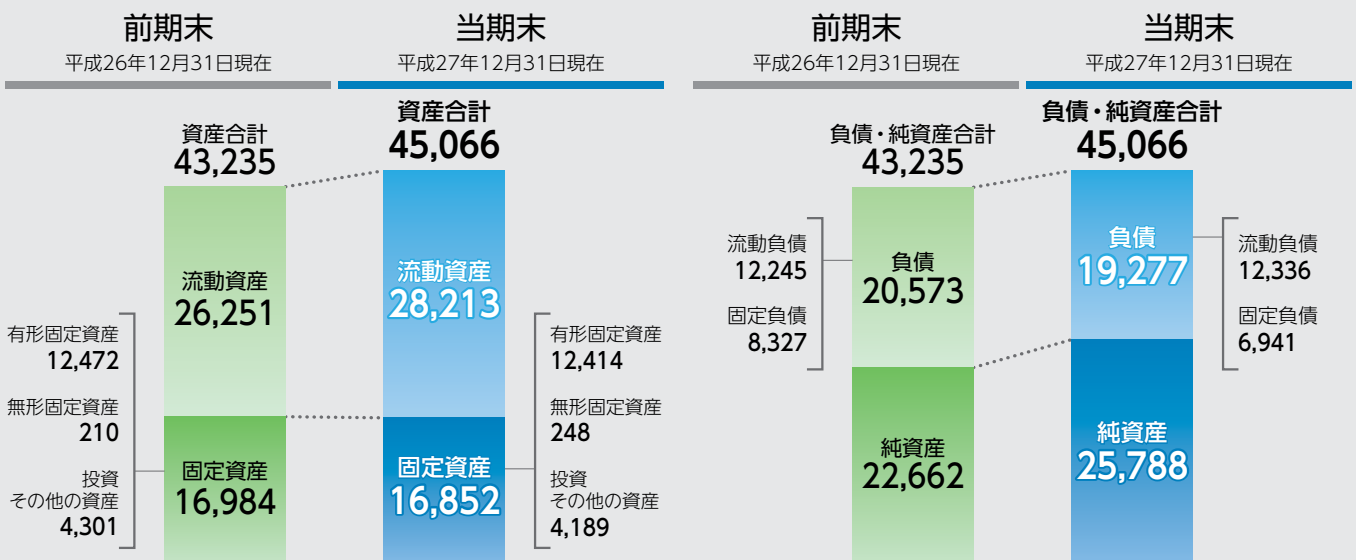


培ってきた樹脂やゴムによるホース設計・製造技術を基に、従来の金属配管にはない柔軟性に富む設計が可能な水道用・トイレ用等の給水給湯用配管を提供しています。

### ◎ 給水給湯用配管



## 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



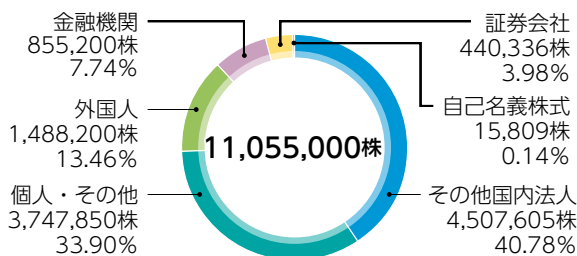
## 株式の状況 (平成27年12月31日現在)

発行可能株式総数	35,200,000株
発行済株式の総数	11,055,000株 (自己株式15,809株を含む)
株主数	5,064名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
太陽鋳工株式会社	2,475	22.42
双日株式会社	880	7.97
東京センチュリーリース株式会社	365	3.31
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS	360	3.26
株式会社みずほ銀行	287	2.60
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LIMITED CLIENTS A/C 513 SINGAPORE CLIENTS	225	2.04
日本精化株式会社	220	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	193	1.75
みずほ証券株式会社	153	1.39
ニチリン従業員持株会	138	1.26

(注) 持株比率は、発行済株式総数(自己株式除く)に対する持株数の割合であります。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
基準日	毎年12月31日 その他必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 証券代行事務センター
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次窓口	三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載します。) <a href="http://www.nichirin.co.jp/koukoku.html">http://www.nichirin.co.jp/koukoku.html</a> ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第2部
証券コード	5184
当ホームページアドレス	<a href="http://www.nichirin.co.jp/">http://www.nichirin.co.jp/</a>

- ・住所変更・単元未満株式(1株から99株まで)の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 会社の概況 (平成27年12月31日現在)

創立	大正3年(1914年)5月
設立	大正13年(1924年)3月
資本金	21億5,800万円
本社	兵庫県神戸市中央区江戸町98番地1 東町・江戸町ビル3階 電話(078)392-1471(代) FAX(078)392-1758
姫路工場	兵庫県姫路市別所町佐土1118番地 電話(079)252-4151(代) FAX(079)251-2160
東京支社	東京都港区芝浦1丁目3番11号 ニュー芝浦ビル4階 電話(03)5476-8050(代) FAX(03)5476-0338
厚木配送センター	神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4055番地 電話(046)285-2311(代) FAX(046)285-2129
浜松営業所	静岡県浜松市中区板屋町110番地の5 浜松第一生命日通ビル11階 電話(053)454-3721(代) FAX(053)452-5524
主要な事業内容	自動車用ブレーキホース、パワーステアリングホース、カーエアコンホースなど自動車用各種ホースの製造・販売および住宅関連のホース類等の製造・販売を行っております。
従業員	349名(出向者40名を除く)

## 役員

### 取締役および監査役

代表取締役会長	清前 水田 良 雄
代表取締役社長執行役員	松 田 龍 一
取締役専務執行役員	池 川 幸 聡
取締役常務執行役員	小 森 池 良 一
取締役常務執行役員	鈴木 木 一
社外取締役	橋 本 茂 進
常勤監査役	黒 田 雄 一
社外監査役	後 藤 伸 浩
社外監査役	小 野 浩 昭

### 執行役員

常務執行役員	谷 前 利 員
上席執行役員	口 田 民 世
上席執行役員	前 田 高 元 博
執行役員	高 竹 谷 司
執行役員	高 島 田 淳 益 男
執行役員	岩 見 文 博
執行役員	高 島 文 章
執行役員	菊 元 秀 樹

## ホームページ紹介

<http://www.nichirin.co.jp/>

当社ホームページでは、IR情報、製品情報や最新トピックスなどの情報を掲載しております。

